

# 男と女の不都合な真実

モーニングコーヒーで欠かせないHタッチな映画



お高い女も本音で迫る男には弱い



イケメン外科医にひと目惚れ!  
イヤな恋愛カウンセラーも気になる存在?

何とも底抜けに明るく楽しいドッキリ、エッチタッチのラブコメディ「男と女の不都合な真実」(ワーナー・ブイック・ヤース配給)の登場だ。

美人で仕事の腕もいいのに、なぜかモテないテレビプロデューサーのアビー。そんなアビーの前に現れるのが、ハンサムな外科医コリンと、放送禁止用語を番組の中で連発する人気恋愛カウンセラーのマイク。このまさに180度違うタイプの二人の男のはざまでもまれて、恋する女に成長するアビー。さて、その恋の行方は?

キャリアウーマンにも、恋愛志願女性にも見逃せない、おすすめ逸品だ。18日から全国ロードショー。

## 協田巧彦のイデオシネマ



9月18日(金) (TOHOシネマズ六本木ヒルズ)他にて公開

スクリーンから連発される「放送禁止用語」の数々に、思わず下を向いてしまう自分が、苦笑。新聞にだって書けない〇×が、こりゃなんだ!と恥ずかしながら見ているうちに、腹を抱えて笑ってしま

R15指定映画。つまり年齢制限ありの大人の映画だ。地方局のテレビプロデューサー、アビー(キャサリン・ハイグル)の悩みは、好みの男性に巡り合わないこと。理想が高すぎるために、つい相手にも完璧さを求めてしまふのだ。

アビーの好みの男性は、頭が良く、嫌みのないイケメン。しかも、意義のある仕事で成功し

ている男。読書家で身長は175センチ以上、白ワインより赤ワイン。ピクニックとクラシックが好き。犬より猫を運び、日曜日は寝坊OK。何とも身勝手な条件だ。これでは、イケ男は簡単には見つかるまい。

ところが出現したのだ。非の打ちどころのないイケメン外科医のコリン(エリック・ウィンター)。しかも、アビーの家の隣に引っ越してきた



9月18日(金) (TOHOシネマズ六本木ヒルズ)他にて公開

ばかり。まさに、手の届くところに理想の男性が。でも、なかなかデートのきっかけがつかめない。イライラのアビーに恋愛指南をすることになったのが、南もあろうに、下品でエッチな恋愛カウンセラーのマイク(ジェラルド・バトラー)。

しかも、アビーの番組の視聴率アップのために、局の上層部が他局からマイクをスカウトして起用してしまったから大変。

アビーは、しぶしぶマイクを自分の番組に起用したものの、犬猿の仲の二人のバトルは増すばかり。

でも、マイクのエッチトークのおかげで視聴率はうなぎのぼり。

一方のアビーは、肝心のコリンとの愛が進展せずあせる。見かねたマイクが、いよいよ恋愛指南に乗り出す。

マイクの恋愛ルールは、①説教はしない。男は成長や変化、進歩に弱いのだ。彼の話を笑う。ウソでも感じるふりをしろ。②男は見た目に弱い。変身しよう。③悩みを相談する。男は聞いていない。④二つの顔を持って。司書とストリッパーだ。

どうだろう、このマイク流作法は?

男は食欲の後は性欲を満たそうとする。恋する女は頭で、男はアソコで考える。

この価値観の違いを追究し、まくるところが、この映画の真骨頂。

男心をそそるため、アビーは下品で野蛮なマイクのアドバイスに従って、涙ぐましい努力を。スカートを10センチ短くし、ヘアスタイルを変え、ストランでのデート場面では目の置きどころがない過激さ。やりすぎだ!

とまあ、ことほどさように凡真面目アビーと、下品だが本音トークのマイクとのドタバタバトルがこの映画の見どころ。これまでにない男と女の思考のズレ、行動や心理の違いに注目し、ちゃんとみられるラブストーリーに仕上げたのはロバート・ルケティック監督。脚本はニコール・リーストマンら3人の女性ライター。なるほど、女性の目から見た男と女のラブストーリーはこんな形もあるのかと納得。

イケメンの外科医コリンに一目惚れしたアビーも、最後は最低の男と毛嫌いしていたマイクに惹かれていく。

真面目でお高いインテリな男も、野蛮だが本音で迫る親切男には弱いということか。モーニングコーヒーを飲みながら、あるいは早朝ミーティングの席で話題にしたくなる過激な余韻の残る映画だ。一見を。



**ジェラルド・バトラー(マイク役)**  
過激なトークが売りのテレビの恋愛カウンセラー役。アビーと口論ばかりだが、恋愛指南役を買って出て、ラストは彼女のハートをものにすチャイム男。

1969年11月13日、スコットランドのグラスゴー生まれ。グラスゴー大学に進み、弁護士を目指す。舞台俳優に。出世作は人気ミュージカルの映画化「オペラ座の怪人」(04)。さらに、歴史アクション大作「300」(04)、感動のラブストーリー「P.S. アイラヴユー」(07)。最近作は「ロクンローラ」(08)。「幸せの1ページ」(08)など。



**キャサリン・ハイグル(アビー役)**  
テレビプロデューサーの仕事もバリバリしながら、理想の恋人出現を夢見る凡真面目女。

1978年11月24日、ワシントンDC生まれ。9歳からモデルとしてCMや雑誌で活躍。99年から02年にかけてテレビドラマシリーズ「ロスウェル」の「麗しの悪魔」で人気者に。05年に絶頂した人気シリーズ「グレイズ・アナトミー」の外科レジデント役で、07年のエミー賞助演女優賞を獲得。08年には「幸せになるための27のドレス」で悪に不器用なヒロインを演ずる。



**エリック・ウィンター(コリン役)**  
アビーにひと目惚れされるイケメン外科医。外見、職業などアビーの希望条件にぴったりなオアシス男だ。

1976年7月17日カリフォルニア生まれ。これまで主にテレビを中心に活躍してきた。お昼の時間帯に放送されたテレビドラマシリーズ「フェイス・オブ・アワー・ライフ」(02~05年)でお茶の間の人気者に。その後は、サリヴァン・フィールドとキャスター・ブロッカーが主演して好評のテレビシリーズ「ブラザー&シスターズ」(06~08年)にも出演。